

すくすくルームの絵本棚

逆瀬川あゆみ保育園 子育て支援すくすく 本号 由香 2025.3.10

すくすくルームには、定番の人気絵本と季節の絵本を取り揃えています。ゆっくり見たいけれど遊びながらではなかなか…というお声を受け、月ごとにすくすくルームの絵本を紹介します。

3月の絵本



① 『ティッチ』

バット・ハッチンス作/絵・福音館書店

3人兄妹の一番下のティッチ。まだ小さいティッチは、兄や姉より小さいものしか持っていません。でも、最後に手にした小さな種が…なんと芽を出しぐんぐん伸び、お兄さんやお姉さんより大きくなりました。その誇らしげな表情がとても素敵です。

② 『おすわりどうぞ』

しもかわら ゆみ作・講談社

「ねずみさんのいすは ちいさなまあるいきのこのいす」うさぎさんは…とそれぞれにぴったりのいすを見つけるお話です。しもかわらさんの、毛並みまで丁寧に絵描かれた繊細な絵がとても美しく、じっくりと見つめてしまいます。

③ 『たいこ』

樋勝 朋巳作・福音館書店

犬がたいこを叩いていると「なかまにいられて」と一人、また一人…とやってきます。みんなで楽しくたいこを叩いていると、そこへわが…。一瞬シーンとなりますが、やっぱり一緒に叩くと楽しいね！と最後は嬉しい気持ちになります。

④ 『かんぱーい』

山岡ひかる作・アリス館

小さなお子さんも大好きな「かんぱーい」のフレーズ。絵本では、ぞうさんがバナナ乾杯したり、ラッコさんがホタテで乾杯したり…コップに限らず色々な物でかんぱいを楽しめます。「かんぱーい」というだけで、何だか気持ちも上がりますね。

⑤ 『くるみのなかには』

たかお ゆうこ作・講談社

くるみの中には、何があるのか？りすが隠したくるみの中には、裁縫箱の小さな針刺し、小さなハサミ、ボタンやまち針が入っています。外からは見えない内の姿をこっそり覗く世界観がとても楽しいです。

⑥ 『はなをくんくん』

ルース・クラウド文/マーク・シーモント絵/

きじま はじめ訳・福音館書店

冬眠から目覚めた動物たちが、はなをくんくんさせて雪の中をかけていきます。すると、雪の中に一つの黄色いお花が！春を見つけた喜びがひしひしと伝わります。絵本の配色も、モノクロの世界に黄色い花というコントラストが素敵です。